

各地の話題 大衡村



2020年10月16日号掲載

作況調査 平年並みの結果 ～新農業委員会始動～

大衡村農業委員会は9月3日、村内にて水稻の作況調査を実施した。7月の委員の改選後、総会以外での初の全体活動となったが、新・再任委員共に圃場に足を踏み入れ、活気のある調査となった。

本年度は、田植え後の日照不足などにより生育が一時停滞するなど、天候による心配があった。5月下旬から6月中旬の高温・

多照による生育回復や、7月以降、気温がおおむね平年並みに推移したことから、農政局からは「平年並み」の見込みが発表されていた。



調査当日の天候は雨天で、足元に不安のあるスタートとなったが、調査中に雨は上がり、事故なく無事に村内7ヶ所の圃場の調査を終了した。調査の結果、村内の圃場は一部昨年よりポイントを下げている圃場が見られるなど、圃場平均で10畝あたり9・3俵と昨年より0・3ポイント下回る結果とな

ったものの、農政局の見込みどおり「平年並み」であった。

これから10月にかけて収穫期を迎えるが、農業委員会では収穫の経過やその後の圃場管理状況等を農地パトロールの実施で把握し、来年度も多収が確保できるようサポートしていく。

【記事提供：大衡村農業委員会】